

ふたりのコラム

June 30, 2021

認定こども園あかみ幼稚園 園長 中田幸子
認定こども園メイプルキッズ 施設長 新井利枝

《3・4・5 歳児》

『雨を楽しもう☂』

しとしとと雨が降る季節となりました。

雨の音におい、木からぽつん、ぽつんとリズムを打ちながら落ちるしずく…。

私は、晴れの日はとても好きですが、雨を感じることも好きです。雨上がりに鉄棒などにできたしずくを手の甲にそっと乗せて、集めることも好きでした。雨の日に外に出るのはちょっとめんどくさい…なんて思う

かもしれませんが、安全な場所で、親子で傘をかぶり、長靴を履いてお散歩するのもいいですね。子どもは、傘も長靴も大好きですね。

「カタツムリ」「カエル」「水たまり」……。きっといろいろな発見ができることと思います。皆さんも、子どもたちの発見に共感し、一緒に“雨”を楽しんでみてはいかがでしょうか。



『元気に大きくなれ！！』



6月初旬、保護者会事業として、**さつまいも**の苗付けが行われました。

今年もコロナ感染防止対策として、保護者と子どもたちが一緒に行く苗付けではなく、ファーム（地域のボランティア）の方々に、耕し、畝づくりなどのご協力を得ながら、当日は、子どもと保育者で苗付けを行いました。秋に大きないもが収穫できることを願って……。

それから、4 歳児クラスの前では、子どもたちが**インゲン**を育てています。とても元気のいいインゲンができました。クラスの前にあることで、毎日水やりをしたり、実の膨らみを観察して「大きくなってきたね…」と言ったり……。そして、本日収穫したインゲンを食べる予定とのことです。楽しみですね。

5 歳は、園内の畑で、クラスごとに育てたい野菜を決めて、**キュウリ・トマト・オクラ・パプリカ**を育てています。毎日水やりをしに行き、成長を楽しみにしています。小さいキュウリが何かにつつかれて落ちていたのを見て、カッパが食べに来たんだ…！！と大騒ぎになることも……。生長の様子を観察し野菜に関心を持ってほしいということはもちろんですが、その他、ファンタジーに心揺さぶられることも……。自然とのかかわりの中で、五感を研ぎ澄ませ、子どもたちが感じること、発見、想像など、学ぶことは大きいのです。



文字と絵による看板も自分たちで

『大人も仲良く協同』

クラス懇談会において、皆様のご参加をありがとうございました。クラス懇談会は、園が主催となり、園から子どもたちの成長の様子をお伝えしたり、保護者の皆様同士が共有しあったりする場です。また、今年度は、保護者会主催によるクラス親睦会も同時開催していただきました。これは、保護者の方同士が顔見知りになり、少しでも近い関係性が作れることで、子どもたちの成長をともに喜び合ったり、時にはけんかなどのトラブルになったときも、保護者の方同士の顔が見えやすいことで、お互い様の気持ちが持ちやすくなったりできることを期待してのものです。結果的に、子どもたちの育ちの上でプラスに働くと考えています。また、先日メールが出ましたが、まつり（園、保護者会共催）に向けて、実行委員会を中心として企画が始まっていますが、3-5歳児の保護者の皆様には、クラスの模擬店の準備等で、基本的には全員の方に参画していただきます。これも、保護者の方同士の協同を目的としています。当園では、子どもはもとより、保護者の皆様方にも楽しい時間を過ごしていただけたらと思います。そして、子どもも大人も、園という場を共有しながら良い関係性を築いてほしいと願っています。

『避難訓練…引き渡し訓練』

いざというときに備えて、月に1回避難訓練（地震・火災・不審者等）を行っています。

先日、冬に行われる引き渡し訓練のシュミレーション訓練を行いました。今回は、職員のための訓練でした。今後子どもを交えた訓練を行い、12月14日（火）には、保護者の方々にもご協力を得ながらの引き渡し訓練を行います。いざ、というときに慌てず済むように、日々の訓練をしっかり行っていきたいと思います。

『子ども・子育て国際フォーラム』

以前お伝えしています「子ども・子育て国際フォーラム2020」が10月24日25日に行われます。



また、そのプレ企画として、8月24日に「佐野市子ども・子育てフォーラム」が行われます。

8月、10月ともに、あかみ幼稚園でオンラインによる公開保育が行われます。

次回、詳細をお知らせします。

（文責：中田）

「子ども・子育て国際フォーラム2020」の意義

- ①国や Cedep 等中央の取組と連動し、地方発信で子ども・子育て、保育の「質」向上に寄与する
- ②結果としてまち全体での保育の「質」向上をさらに目指す（小学校教育との接続含む）
- ③行政と現場との協働をさらに推進する
- ④働き方改革を含めた子育て・仕事の両立支援、雇用のあり方をめぐる、地域企業との協働を模索する
- ⑤フォーラム開催をめぐり地域経済を含めた地方創生・地域活性化に貢献する
- ⑥一度きりのイベントではなく、このフォーラムが契機となり、継続的な取組が可能になる

《0・1・2 歳児》

台風5号の影響も特になく良かったですが、毎日じめじめとした日が続いていますね。暑すぎるのも困ったものですが、梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。

そんなじめじめした毎日の中でも、メイプルキッズの子どもたちは元気一杯です。天気が良くない日には、ホールで体を思いきり動かして楽しんだり、テラスを散歩しながら、お兄さんお姉さんたちのクラスへお買い物に行ったり……。梅雨空に負けないパワーです。

さて、年間予定でもお伝えしましたが、メイプルキッズ6月の保育参加は、スクールカウンセラーの講話と子どもたちの園での様子をweb配信にて実施しました。カウンセラーの講話は、乳幼児期に大切な愛着についてのお話でしたが、その中で、短時間でも密な「ちょい抱き」について触れていました。忙しい毎日の中でも、10～15分子どもと触れ合いスキンシップを取ることで、オキシトシンが分泌されるそうです。オキシトシンは信頼感や思いやりが増す、愛着関係を深める、気分の安定、ストレスが消え幸福感が得られる……。など心の安定につながるようです。この講話を聞いて、私自身、我が子が小さいころを思い出しました。

私の仕事帰りを、実家の玄関先で待っていた娘、「ただいま」と声をかけ抱っこをするのが日課になっていました。つい最近娘が当時のことを「あの頃は帰ってきて抱っこしてもらうのがうれしかったんだよね。でも今は帰ってくると小言ばかりだからうれしくないよ」と嫌味交じりに言ってきました。小言を反省するとともに、あんな小さい時のこと覚えてるんだと感心してしまいました。子どもは、大きくなってもうれしかったことはずっと覚えています。毎日の「ちょい抱き」で、たっぷりの愛情を注いであげましょう。

そして小言は、ほどほどに（自分自身へ言い聞かせてます）【笑】



0歳児つくし組の子どもたちもすっかり園生活に慣れ、担当保育者と毎日笑顔で過ごしています。最近では、「ばいばい」も上手になり、私を見ると嬉しそうに「ばいばい」をしたり、指差して何かを訴えようとしてくれます。その姿は本当にかわいらしく、毎日癒されてます。つい先日も、保育者のそばでおもちゃで遊んでいたT君、私に気が付き笑顔で手を差し出してきました。私も「タッチ」と声をかけ手を差し出すと満足そうにしていました。その後私が「T君おいで」と両手を差し出したところ、表情が一変、慌てて担当保育者の後ろに隠れようと必死になっていました。私は心の中で、T君も「違いがわかる男」(某コーヒーCM キャッチコピー<笑>古すぎですが)になったのね、とその成長を嬉しく感じました。

赤ちゃんのうちは、大人のように好き嫌いの感情はまだなく、誰にでも愛想を振りまく子も多いです。少しずつ脳が成長することで、普段近くで自分の世話をしてくれる人とそうでない人の区別ができるようになります。違いがわかるということは、記憶する脳が育ってきている証拠でもあります。記憶ができなければ、見聞きしたことから区別することはできませんものね。

違いがわかってくると、自分以外の人ともっと関わりたいという好奇心と、知らないということに対する恐怖心が、同時に芽生えてくるともいわれているようです。T君もまさにこの状態なのでしょう。まだ言葉の理解が難しい時期ですが、その分、人の感情や表情から察することに長けているようです。自分の身を守らなければという生物としての防衛本能が、きっと私を怪しい人?と判断したのでしょう。担当保育者にジェラシーな私ですが・・・担当制保育を通して、保育者と子どもとの良い関係が築かれている証です。身内自慢のようですが、うちの先生たちは本当にみんな子どものことを一番に考えて保育をしています。保育の仕事は、けっして楽な仕事ではなく、子どもが好きなだけでは務まりません。でも、子どものことを好きでなければできない仕事でもあります。私たち保育者はみんな子どものことが大好きです!!

話は変わって・・・

年中組のAちゃんは、いつもかわいい洋服を着ていて、どこかのブランドかな?とっていました。私が「今日もかわいいスカートだね、似合ってるよ」と声をかけると、スカートをヒラッとさせて本当にうれしそうに笑顔を見せてくれました。ある日、ママと登園してきた際に、「いつもかわいい洋服ですね、どこかのブランドですか?」と声をかけると、「私が作ってるんです」との返事に、「ええー!」とびっくりしてしまいました。ママ曰く、「毎日スカートがいい」と言われるらしく、自分で縫っているとのことでした。大好きなママが作ってくれた、大好きなスカート・・・そりゃあ、かわいいはずだと妙に納得してしまいました。髪型や洋服等こだわりのある子も多いようですが、小さくても、おしゃれで、かわいいのがみんな大好きなんですよ。製作コーナーで自作のリボンを作り、身に着けている子どもよく見かけます。女子力高めなところを、見習わなくてはと思う最近おしゃれに無頓着なアラフィフの私です。



(文責：新井)